

【刊夕】日一月九



刊五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一價  
 刊休日祭曜日 誌字 21 號 5 料 告 廣  
 治 文 崎 川 人 刷 印 人 辨 編 兼 行 發  
 五 三 町 橋 長 町 平 郡 城 石 縣 島 福  
 番 〇 三 六 話 電 社 聞 新 日 每 警 常 所 行 發  
 社 會 式 株 刷 印 日 每 警 常 所 刷 印

### 迷悟の二邊

眞・繼・雲・山

(下)  
 この故に、迷ひの世界にこそ佛はある、佛の世界には特に佛と名づくべきものゝたまたま管がない、衆生なければ涅槃なしで、佛は衆生の對照としてのみ存在する、また更に多くの人は生を出れば死の世界があるとと思ふてゐる、しかし對照の一邊を失へば、他邊もた有る筈はなく、生を出れば生死ともに無し、これを涅槃とも寂滅爲樂ともいふのであつて、その一境を只今の現身に體得するが究竟である、生死嚴頭をはなれ、有無の二邊を拂ふたところを、しばらく實相といふべし、その諸法の實相を實相のまゝに觀するのを假りに名づけて悟りとも觀照淨土ともいふべしである。

本來無自性  
 佛敎は繫縛をはなれよと訓へる、それが解脱である、解脱とは、たとへば恬淡、水のやうに粘性なきをいふ事實は鳥龜が出来上るまでは粘りつくものも、粘り着

かれるものも無いのであるが、一たび鳥龜が出来上つてみるとベタ／＼と引き着きたがるやうに人間、本然の性は、淡きこと水のやうに何等の自性、自我性といふものはない、謂所無相にして無自性なのであるが、一たび肉身をもち、妻子を伴ふ段になると、そこに愛着を感じ、利慾をあさり名譽をむさぼるやうになる、しかしこの欲求は生れぬ以前から持つてゐたものではないから自性とは言ひ難

く、五大假和合といふ因縁の副産物として沸いたのであるから因縁性であるからには因縁散じ、肉身滅して後までもコピー附いてゐるといふ程に根柢あるものではない如何にして無自性の本具佛性を知るべきやといふに、肉身滅して生れぬさきの昔に還ればよいと見るのが小乗の所觀であり、この身このまゝその本性を體得するが大乗である

### 水明夏行句抄

金 成 磐 洲 子  
 釣好きの父日焼しておはしけり  
 おもしろく走る船蟲見てゐたり  
 船蟲に満ちそむる潮早かりし  
 日焼どめの白粉刷きて焼けにけり  
 金 成 喜 山 郎  
 船蟲の打ち上げられし渚かな  
 引き潮に船蟲ひそむ岩の窟  
 船蟲の芥につきてながれけり  
 山下 率 賓 子  
 船蟲や水垢動く底の石  
 船蟲の砂さら／＼とくづれけり  
 金 成 上 鶴  
 濱の人腕たくまじき日焼かな  
 日焼の子漸く笑ひおぼえけり  
 船蟲に磯ありし足いたみけり  
 船蟲に磯の小貝をはがしけり

セメント  
 壁用材料  
 コールタール  
 ペンキ塗料  
 板 ガラス  
 磐城セメント株式會社  
 代理店 西村屋藥舖  
 平町二丁目電三

### 高久病院

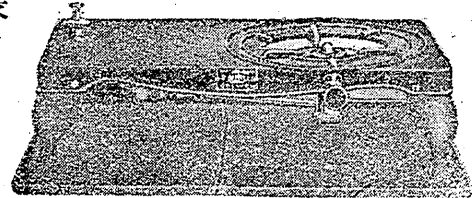
院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄  
 平町町 電話五二三番  
 内科小兒科 外科花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

債券・公債・爲替金融  
**多田井質店**  
 平町大工町  
 電話五九一番

### 貸切は●●●

セダン揃ひで！  
 貸切専門の！  
**昭和タクシー**  
 電話三四三

瓦斯や電熱より經濟で便利な變性  
 アルコールを燃料とする尖端的の  
**自家瓦斯發生器** 生る



(しな差大と油石段値ルールア)

#### 本器の特長

- 一、便利重寶IIガス、電氣のやうに管やコードを要せず、土器鐵器の様に重ならず、石油厨爐の様に容積大ならず、持運び自由で體裁良好し
- 二、經濟的IIアルコールを一旦「ガス」化して燃える爲め燃焼物の容積を膨大し火力熱量は類なく強大でありますから燃料が少料で安價に炎吹き出来ます時間は瓦斯より早し。
- ◎飯一升五合炊くに要する各種燃料比較實驗表 (昭和六年四月、釜屋商店調)

四季の平均(アルミニウム製並二升釜使用)  
 一升五合に對する水の分量一升六合  
 一、一般家庭用は勿論左記に利用下されば最も便利と思ひます。旅館、料理業、うどんそば屋、問借別荘、病院、船舶(海上生活者)野  
 外一般用工業用  
 今回御便宜の爲にねん料アルコールのハカリ賣を初めました  
 精々御利用を願ひます



釜屋商店  
 平町五丁目 電話九番九九番

### 外科

専門線 X

上田外科醫院

平町南町  
 電話二一九番

# 政民兩派共に 産みの悩み

民政は例のお家騒動  
政友もまた議纏らず

## 日は益々迫る

石城郡の民政部會に於ては野崎、若松兩派が夫々豫選會又は幹部會の形式に依つて縣議候補擁立の段取りに迄はこぎ付けた勿論未だ推薦され、た人々の起否は決定しない模様で今後幾多の曲折を経る事であらうが茲に注目すべきは野崎派が現縣議再選の旗印に據つて反對的の立場に在る若松氏をも候補の一名に加へたに對し若松派にては斷呼として野崎氏を退け若松、萩原、赤津の三

# 櫻村署長自ら 各町村へ出動

縣議戦切迫し  
取締りのため

## 明日平窪村を振出しに

そろ／＼縣議戦期日の切迫につれて石城郡下各町村では潜航的前哨戦が行はれてゐるので此が取締の立場にある平警察當局では數日來縣當局より配布された選舉に關する注意書を管内全有資格者に配布したが更に此が趣意の徹底を期する爲明二

濱△四日飯野、夏井、高久、豐間、好間、神谷△五日江名、玉川、上下小川、永戸、三坂△六日湯本、鹿島、赤井、箕輪、澤渡、内郷△七日平

あす二十十日

## 先づ平穩

明二日は農家にとつて大厄の二十日早くから天候が氣遣はれてゐたが

曇り空ながらも先づ平穩に過ぎるらしい。きのふけふのこの天氣は昨年の二十日前後と同様で昨年の當日は珍らしい好天氣となつたのであつた、目下氣壓は北に高く南に低くなつてゐるから風も北東で寒くなつてゐるが高氣壓は次第に南下しつゝあるから天氣は次第に秋晴れの快時に向ふものであると

# 給水料値上げ 片倉側折れる

▽期限問題を除いて  
交渉漸く成立

平町では片倉製氷會社の給水料値上げに關し先般來會社側と再三折衝中であつたが他都市と比較して石當り一厘値上げは已むを得ずと一時強硬な反對的態度を示した會社側も之を受諾したので愈々今月から新料金案を實施することになつたが尙去る六月末日の前契約満期後より今日までの料金徴収に就いては未解決であるため目下折衝中であると

## 米價上る

本日の相場

米穀検査支所調査に依ると先月廿五日天候の關係で地米の値段は一畝十四圓四十錢に値下りとなり買入者はいづれもホツと安堵の體で盆を迎へ再び高價を豫想されたが本日同支所の調べでは五等米一畝に付十四圓五十錢で十錢程の高値である

# 平役場建築委員會

◇明二日午後召集◇

平町役場では明二日午後一時より會議室に於いて町内の役場建築委員を召集役場の引渡も差迫つた爲此が對策及び新築役場の場所及工費等を協議するものである

## 勿來道路改修運動

石城郡勿來驛前から窪田町への道路は勿來關跡及貨物運輸等で自動車馬車の交通頻繁であるが右の道路はカ

# 産業組合長期講習

木田主事補出席

三ヶ月間の滞京豫定

産業組合石城部會主事補木田森之助氏は今回縣の薦選により来る十日より十二月九日迄東京市中央牛込區産業組合で開催される産業組各長期講習會に講習生として出席する事になり九日午前八時四十分平發列車で出發する

## 四倉齋取引状況

(三十一日)  
△白齋 三千三百五十三貫  
△古鍛冶町二六 越馬トク(二二六)

## 平町人事

△月見町二五 米穀商根本精一氏四男 出 生  
△古鍛冶町二六 越馬トク(二二六) 死 亡

# 秋の味 葡萄の野性味

明澄なる食欲と  
原始のあこがれ

秋の味覺は先づ葡萄の野性味からはじまる——青玉紫玉のかさなりが明澄な陽に映えて街頭に投影するフレッシュネスはおよそ香高き原始のすがた——

葡萄の野性味

葡萄の野性味は子供たちにとつて一番面白いお話——今朝みれば棚の葡萄のひとふさの陽に透けるありまだ青さあり (土岐善麿)

「青」の色彩からおくられるそれはレストランサロンあたりの卓上で白い皿に盛りだくさん出された時我々は近代のな快よい美感を抱かすにはおれまい、サファイアの「青」である

ぶどうの真味はまだ早い、秋半ば、葉蔭洩る陽の光に滴るやうな甘露を含んで寶玉の美しさに映える魅力を我々はあたかも聰明な美女の眸に見る

ぶどう——それはげに近代性に富んだ秋の戀人彼女であり遙かなる「自然」の野性味である

# 開

店内の照明装置等總べてウルトラモダン

氣分第一。味覺本位

華麗なウエイトレスのサービスに正にエロームを自負

平窪前新通りの尖端に起つ

藤 彦

(電話 994)

# 蒸氣を通さず ブレーキの不完全

## 職務怠慢か

原因畧々推定さる

### 衝突事件後報

昨報平驛構内機關車衝突事件に關しては其後鐵道關係者及平署にて夫々原因調査した結果八七〇四號單機々關車が

### 全治には 約三ヶ月

兩重傷者の  
生命取止む

綴驛より 逆進に際し  
速力を出し過ぎた爲め停止  
信號に對してブレーキが不  
完全であつたに因するとみ  
られてゐる即ちブレーキを  
かける蒸氣が壓搾空氣のボ  
ンプに通じてゐなかつたこ  
とは同機關車乗務員の全く  
職務怠慢のため

目下高久病院にて加療中の  
前記乗組員は一時生命危篤  
を傳へられたが今朝に至つ  
て漸やく一命は取止め得る  
ことが判明し意識も漸次明  
瞭になつてきたものゝ機關  
車中根は全治に約三ヶ月を  
要し助手志賀は同一ヶ月を  
要する見込みである尙高久  
病院當事者は語る  
「生命には別狀なくどち  
らも憂慮する程のことば  
ない」

## 甲種 合格 兵科決定

平町に於ける本年度壯丁甲  
種合格者は左記の如く兵科  
決定した(數字番號)  
△幹部候補生志願者歩兵一  
織田活郎 五鈴木新右衛  
門 二三金成龜太郎  
△輜重輸卒三四坂田千平  
△歩兵八赤津重美 三六澤  
田長四郎 四七瀬谷新中  
六〇永山一 六七佐藤二

郎 八二沼田秀夫 八三  
木田三雄 九三坂橋芳夫  
一一〇齊藤警廣 一一六  
小林重考 一一八菅野淺  
雄 一二七大島熊一 一  
三六關内和平  
△野砲兵 三二富田雅雄  
△山砲 四岩崎達雄  
△工兵 八吉村榮助 一三  
佐々木五郎 一七長谷川

## 内田警察部長

### あす初の巡視

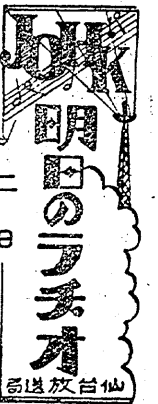
今夕六時二十二分來平

本縣内田警察部長は石城郡  
下及双葉、相馬の警察事務  
の巡視と來るべき縣議選舉  
の取締等を兼ねて今夕六時  
廿二分磐越東線經由來平  
同夜は住吉屋旅館に宿泊明  
二日午前九時より平署に初  
の巡視を行ひ同日直に植田  
署に向ひ其から小名濱、江  
名、豊間を経て四倉署を最  
後として二日は四倉に一泊  
三日双葉郡へ出發する筈で  
ある

### 官民合同 歓迎會

#### 今夕谷口樓で

今夕六時廿二分平着列車で  
來平する内田警察部長官民  
合同歓迎會は櫻村平署長其  
他が發起となり同署幹部及  
平消防組幹部伏見平町長其  
他廿餘名來會し今夜七時よ  
り谷口樓に開かれると



今晚の部  
後六、〇〇(子供の時間)  
お話「心のネヂ」安部季雄  
後六、三〇 夏期英語講座  
「中等科、第三講の四」増  
田綱  
後七、〇〇 全國ニュース  
官廳ニュースを含む 河  
北新報社 ニュース 氣象

今晚の部  
通報告知事項 番組豫告  
牛齋相場  
後七、三〇 記念講演「新  
興國民の氣力」子爵齋藤  
實  
八、〇〇 長唄「四季の山  
姥」  
後八、三〇 小唄唄 田村  
小歌 三味線 田村てる壽  
後八、四五 新講談「本榎  
簽次郎」第一席藤伊遊痴

今晚の部  
後九、四〇 時報 全國ニ  
ユース 氣象通報 番組  
豫告 告知事項  
明日の部  
前九、一〇 料理献立「イ  
スカロツトブーフソテ  
」朝倉長吉  
前一〇、三〇 夏期講習  
「家庭用マツサージ」(一)  
小川源助  
後一〇、〇五 浪花節「安中  
草三」齋甲齊左虎丸  
後二、〇〇 海外事情講座  
「アルゼンチンと我同胞」  
アルゼンチン公使館通譯  
官 齋田從義

後六、〇〇(子供の時間)  
お話「暴風雨はなぜ起る  
か」中央氣象臺技師 國  
富信一  
後六、三〇 夏期英語講座  
「初等科」(十七) 武井  
亮吉  
後七、二〇 趣味講座「鳴  
く虫の話」佐々木喜善  
後八、〇〇 ハーモニカ三  
味線二重奏 ハーモニカ  
鈴木實 三味線軒屋大彌  
重其他  
後八、二〇 マンドリン合  
奏 演奏郡山マンドリン  
協會 指揮小池亮一  
後八、四五 新講談「榎本  
簽次郎」第二席藤伊遊

### 販路擴張さる 案外に美味

石城郡各濱では昨今河豚の  
漁が多いので各水産業者は  
之を味淋漬となし東京方面  
へ移出中であるが案外美味  
なために注文が殺到し販路  
も漸次擴張される見込みで

### 脳天目がけ

#### 鐵槌で亂打半殺し

盆踊り中の若者

石城郡小名濱町横町桶職大  
井川清(一)は去る三十日午  
後九時頃同町壽福院の祭禮  
に出かけて同境内で盆踊中  
同郡玉川村小名、小泉力  
(三)に足を踏まれたことか  
ら口論を始め一旦歸宅した  
が金槌を持ち再び來りて小

## 耳鼻咽喉科専門

平町南町一(眞木辯護士跡)

## 増田醫院

電話四八二番

郡内廿四ヶ町村の囑託により六  
月一日より輕費診療を開始

(院病濟共) 始開療診費輕

- ◎診療科目 内科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 産婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科
- ◎診察料 輕費診察員 五十錢 共濟會員 無料
- ◎藥價 一種輕費診察員 十五錢 共濟會員 一圓以上
- ◎入院料 分一圓輕費診察員 一圓以上 共濟會員
- ◎衛生試驗 醫化學的検査は何でも致しませ遠慮なく御利用下さい
- ◎公休日 は廢しました

尚御不明ノ點ハ各町村長又ハ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ

城警 共濟會 電話六四一番





渡邊默禪作 布施平八郎畫

【載轉禁】

争ひが次第に激しくなつて来た。 なか／＼女の方でも負けてはいない、夫れと言つて容の方でも許しはしない、この室外の大騒ぎに室内の話しなかつたのか、その時障子をさらりと開けて、早乙女がいきなり出て来た。

貴君方の話を立聞きしてゐたのです。舉動甚だ不審ですから取つて押へました。此女は大いに警戒すべき女のスパイですよ。一つ十分糺ちてやらうぢやありませんか……」

「あら、それぢやあ、撲つた者に罪がなくつて撲られた私が悪いと被仰るの、随分片手打のお裁きね。直行つてくれと女中さんが言ふから、少しも早く窺はうと思つて都合をして来たのにそんなお叱言を食はされちやあ合ひあしないわよ。あなた方は何か私に聞かれて跋の悪い秘密のお話中へもあつたんですか。」

「いや、別に何にも聞かれて悪いやな話があつた譯ではない。第一料理屋に来て秘密の相談をする間拔もありやしないぢやないか、だつて秘密が必要なら幾らでも他にする所があるぢやないか。」

途端に歌治の眼はちらちらと茶室のなかに飛んだ、早乙女の後には坐つてゐたのが見知らない顔でもない。確か濱松町あたりの高利貸だとやら、借人に連れられてお茶屋さんに来るごとにお膳に乗つたものなら香の物までも綺麗にさらつて行くので有名な植野といふお爺さんだつた、川島の奥の方に引込んでこつちへ背を向け知らぬ顔で猪口を傾けてゐた。

一人が熟柿のやうな顔から圓い眼を輝かして怒鳴つた。と早乙女が、

「それはお前が悪いからなんだ、あちらの座敷もお開きにならないうちに勝手に抜け出して、廊下をやらいな。庭をやらいなをやるからそんな目に遇はされる。第一呼びにやらない先から此處へ来てうろ／＼するつてえ法はない。」



「いや、此の女は怪しからん奴です我々が今此處へやつて来ると此處に突立つて

「然うか。歌治、お前、何時此處に來たのだ。」

「いや、此の女は怪しからん奴です我々が今此處へやつて来ると此處に突立つて

「然うか。歌治、お前、何時此處に來たのだ。」

「然うか。歌治、お前、何時此處に來たのだ。」

美味！ 芳醇！ 宗正らいた 山崎合名會社 電話一〇番

お茶の値下斷行 本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ 煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢

吉田眼科病院 平紺屋町、電話六八番

カクテル レストラン

子宮病血の道の方は左記の良薬をお用えになればラクに自宅退治出来ます 宮温湯 腰部をアタメ、子宮病を治す 美神湯 服薬血の道薬 一手特約店 阿康薬舗 電話四四番

科人婦・科産 院醫坂井 町田町平 番九五五話電